

投資信託の共通KPIに関する分析

＜2024年3月末基準＞

2025年3月10日

金 融 庁

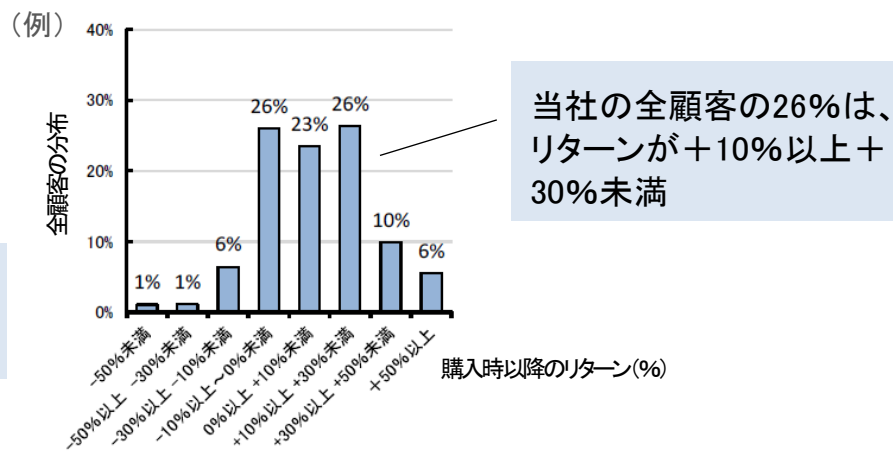


投資信託の共通KPIの概要

- 金融事業者の選択に当たっては、他の金融事業者と取組状況を比較することが有益である。金融庁としては、各金融事業者が設定・公表する自主的なKPIに加えて、リスクや販売手数料等のコストに見合ったリターンを長期的に確保できているかを国民が比較検討できるよう、各金融事業者が、リターンに関連する共通の定義による統一的な指標（以下、「共通KPI」）を公表することを期待している。

① 投資信託の運用損益別顧客比率

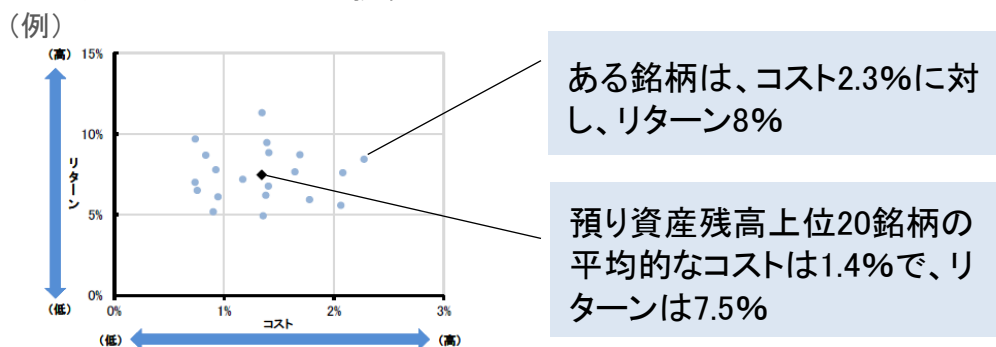
基準日に投資信託を保有している各顧客について、購入時以降のリターンを算出し、全顧客を100%とした場合のリターン別の顧客分布を示したもの。



$$\text{購入時以降のリターン(}\%) = \frac{\text{基準日の評価金額} + \text{累計分配金額} + \text{累計売付金額} - \text{累計買付金額(手数料込)}}{\text{基準日の評価金額}}$$

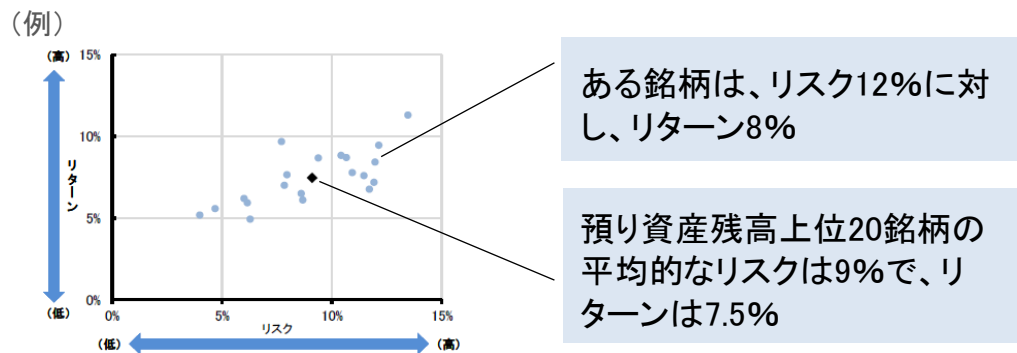
② 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

預り資産残高上位20銘柄について、コスト（販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値）とトータルリターン（過去5年間の基準価額の月次騰落率を年率換算）をプロットしたもの。



③ 投資信託の預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

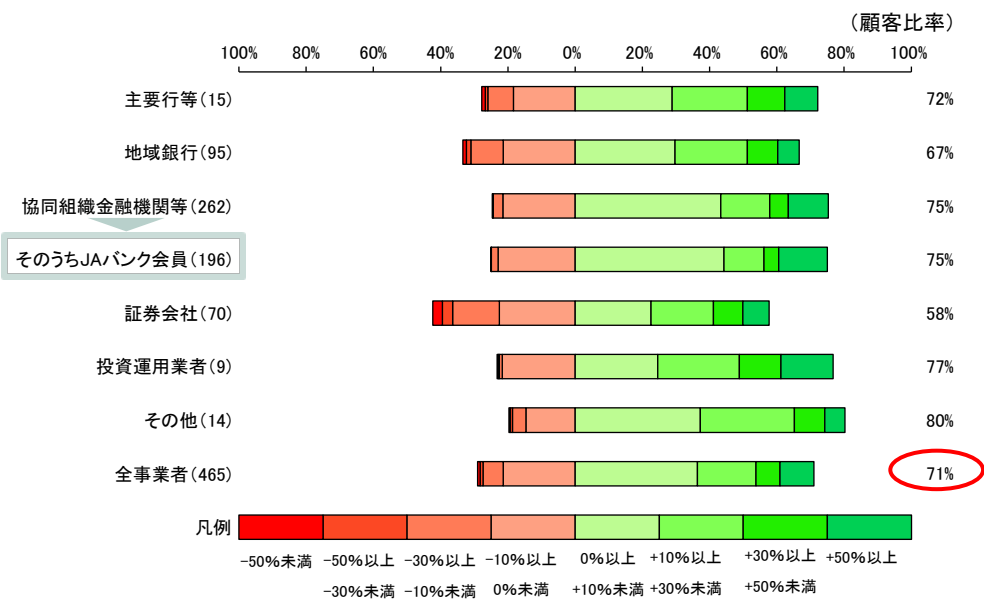
預り資産残高上位20銘柄について、リスク（過去5年間の基準価額の月次騰落率のバラツキ）とトータルリターン（同左）をプロットしたもの。



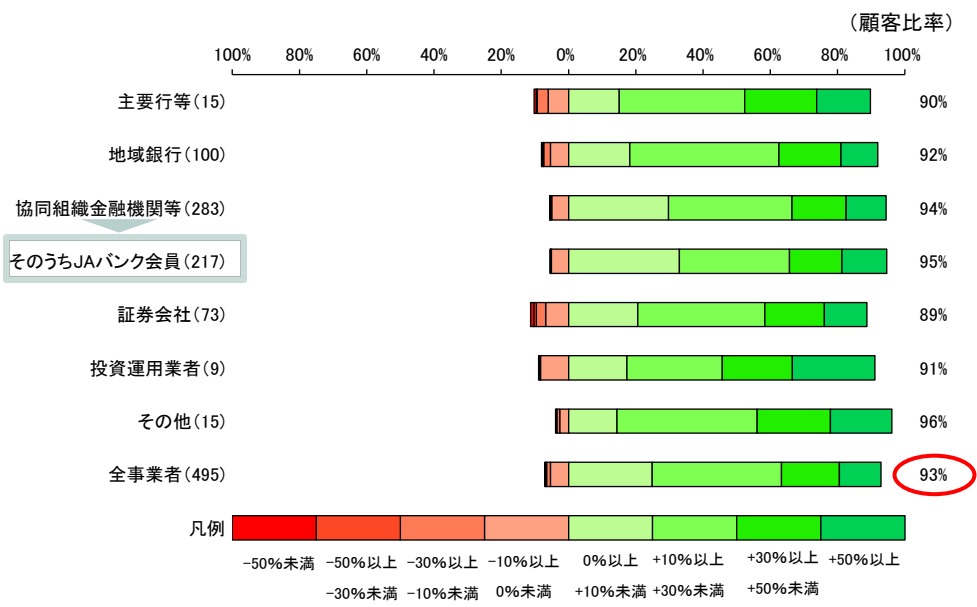
共通KPI① 投資信託の運用損益別顧客比率

- 2024年3月末は、運用損益がプラスである顧客の割合は約9割と、2023年3月末の約7割に比べ上昇した(図表1、図表2)。なお、2024年3月末までの1年間の市場動向は、国内外の株式、債券の代表的な指数を見ると、国内では株式が上昇した一方、債券は下落、また外国では株式、債券とも上昇した。
- 業態別に見ると、運用損益がプラスである顧客の割合は、2023年3月末時点に比し、いずれの業態も上昇し、業態間の散らばりは縮小した(図表1、図表2)。

図表1: 投資信託の運用損益別顧客比率(2023年3月末基準)



図表2: 投資信託の運用損益別顧客比率(2024年3月末基準)



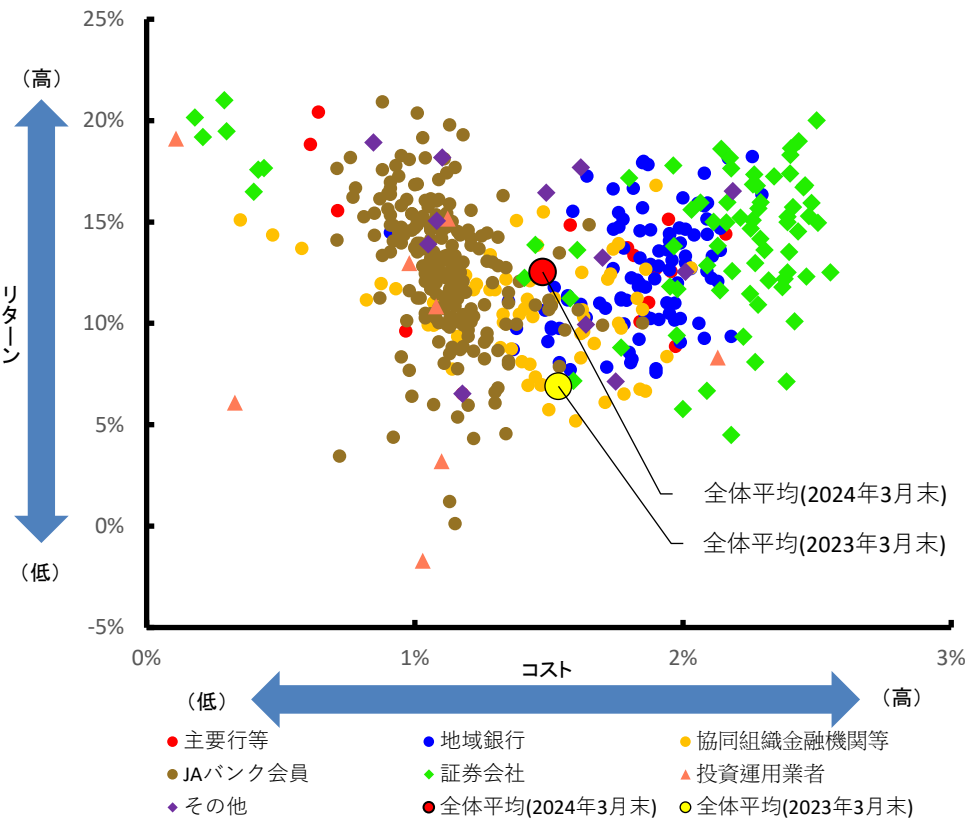
(注1) 基準日2023年3月末
(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し当庁に報告のあった金融事業者(495者)のうち、2023年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し当庁に報告のあった金融事業者(465者)を集計(単純平均)
(注3) 各業態の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合(小数点以下四捨五入)
(注4) 各業態の右側の()内数値は、公表先数
(注5) その他は、保険会社等3者、IFA10者、日本郵便
(資料) 金融庁

(注1) 基準日2024年3月末
(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった金融事業者(495者)を集計(単純平均)
(注3) 各業態の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合(小数点以下四捨五入)
(注4) 各業態の右側の()内数値は、公表先数
(注5) その他は、保険会社等3者、IFA11者、日本郵便
(資料) 金融庁

共通KPI②・③ 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

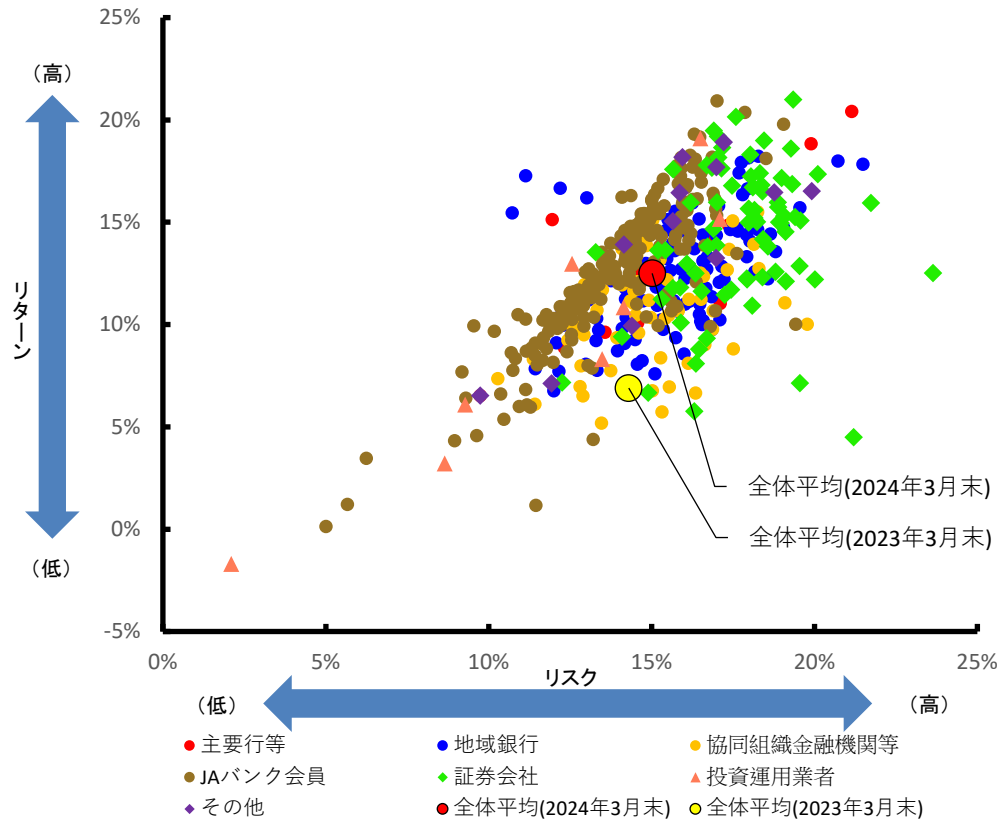
■ 2024年3月末は、2023年3月末に比べ、コスト・リターン(コストに対するリターンの比率)、リスク・リターン(リスクに対するリターンの比率)、ともに大きく上昇した。リターンが大きく上昇し、コスト、リスクが小幅な変化にとどまったこと等を反映したものである。(図表3、図表4)

図表3:コストとリターン(全公表事業者)



(注1) 基準日2024年3月末
(注2) 全業態平均(2024年3月末)は、2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった金融事業者(493者)を集計(単純平均)。全業態平均(2023年3月末)は、その金融事業者のうち、2023年3月末基準の投資信託の共通KPIについて当庁に報告のあった金融事業者(463者)を集計(単純平均)
(注3) コストは、販売手数料率(税込)の1/5と信託報酬率(税込)の合計値。リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)
(注4) 「その他」は保険会社等3者、IFA9者、日本郵便
(資料) 金融庁

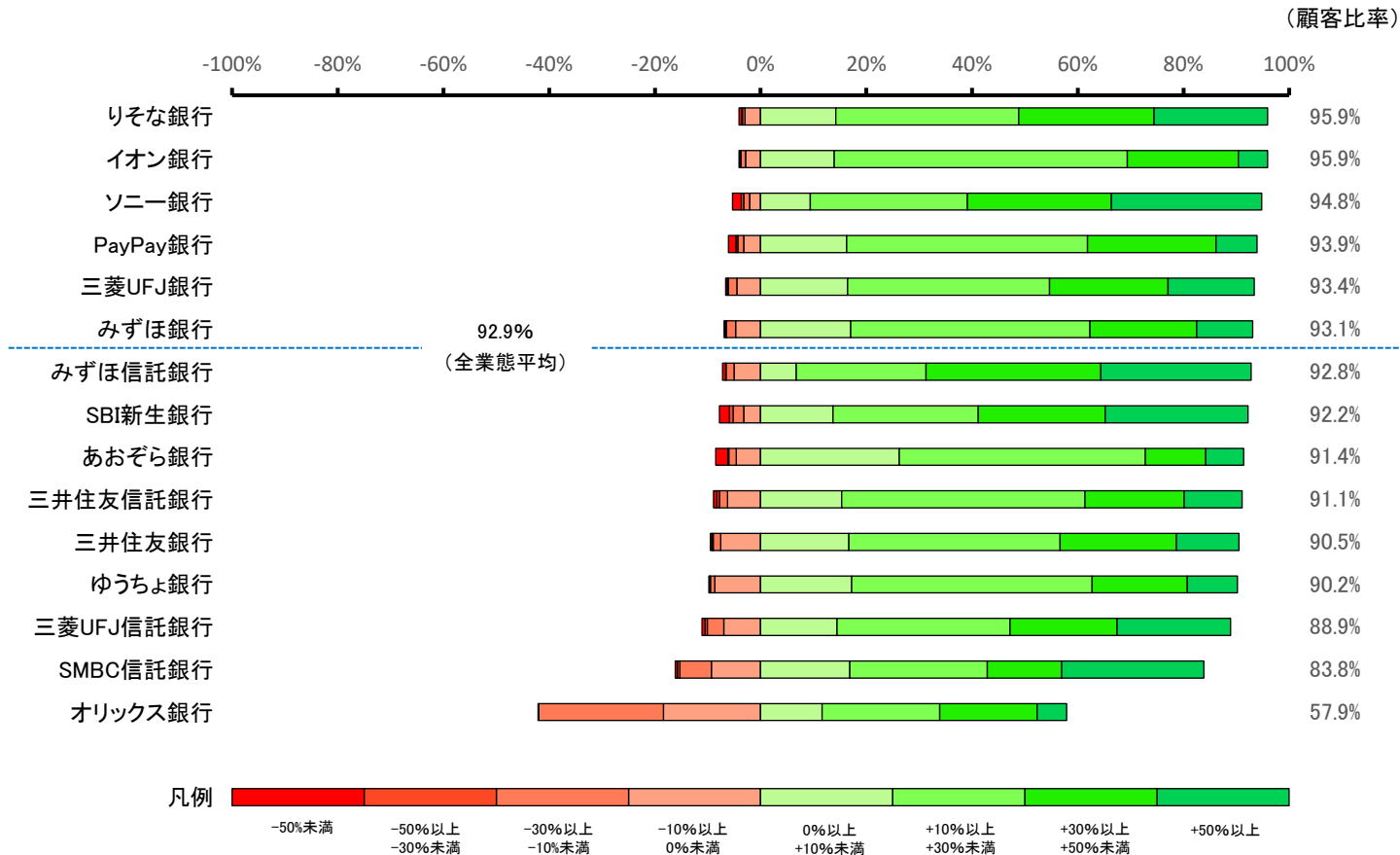
図表4:リスクとリターン(全公表事業者)



(注1) 基準日2024年3月末
(注2) 全業態平均(2024年3月末)は、2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった金融事業者(493者)を集計(単純平均)。全業態平均(2023年3月末)は、その金融事業者のうち、2023年3月末基準の投資信託の共通KPIについて当庁に報告のあった金融事業者(463者)を集計(単純平均)
(注3) リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)。リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)
(注4) 「その他」は保険会社等3者、IFA9者、日本郵便
(資料) 金融庁

【参考1】 主要行等の投資信託の運用損益別顧客比率

■主要行等(運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順)



(注1) 基準日2024年3月末

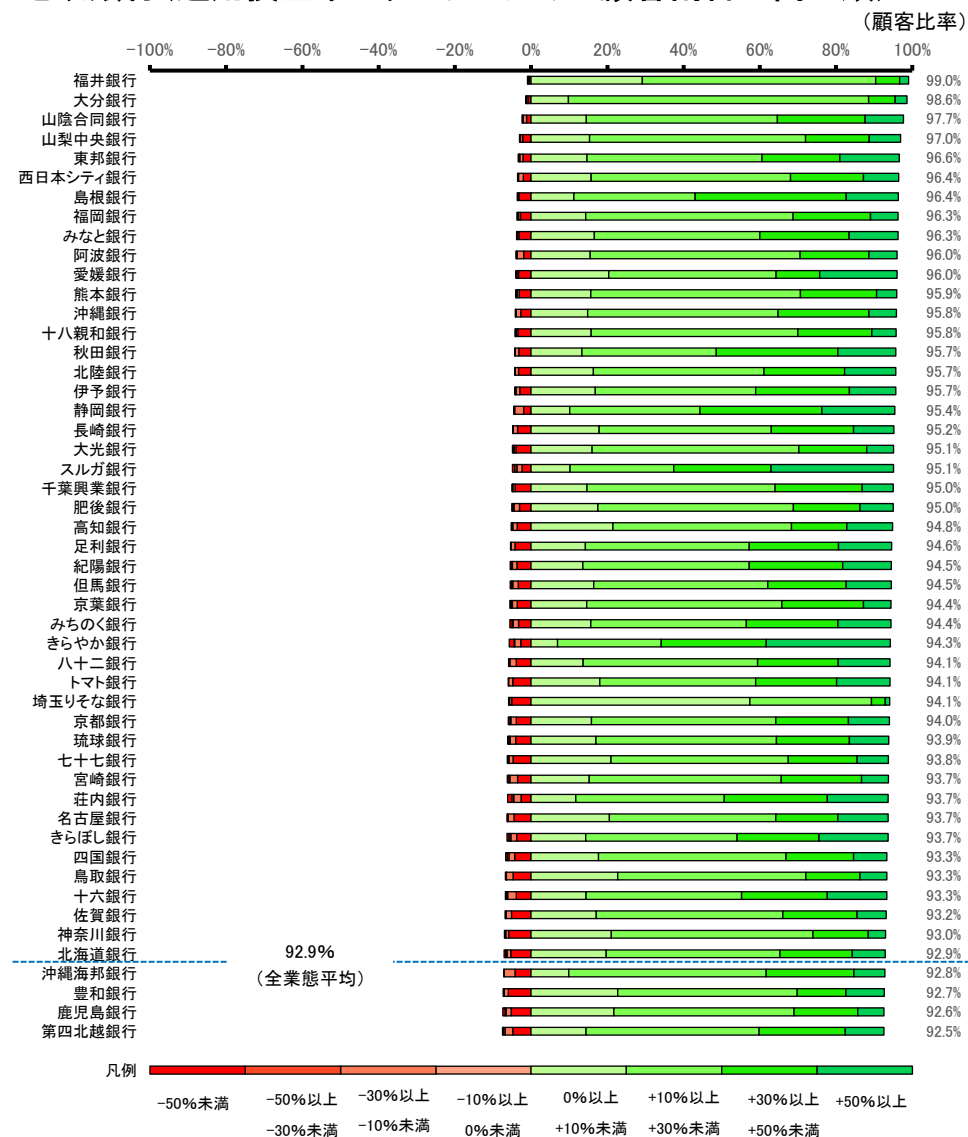
(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった主要行等(15者)を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

(資料) 金融庁

【参考2】 地域銀行の投資信託の運用損益別顧客比率

■ 地域銀行（運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順）



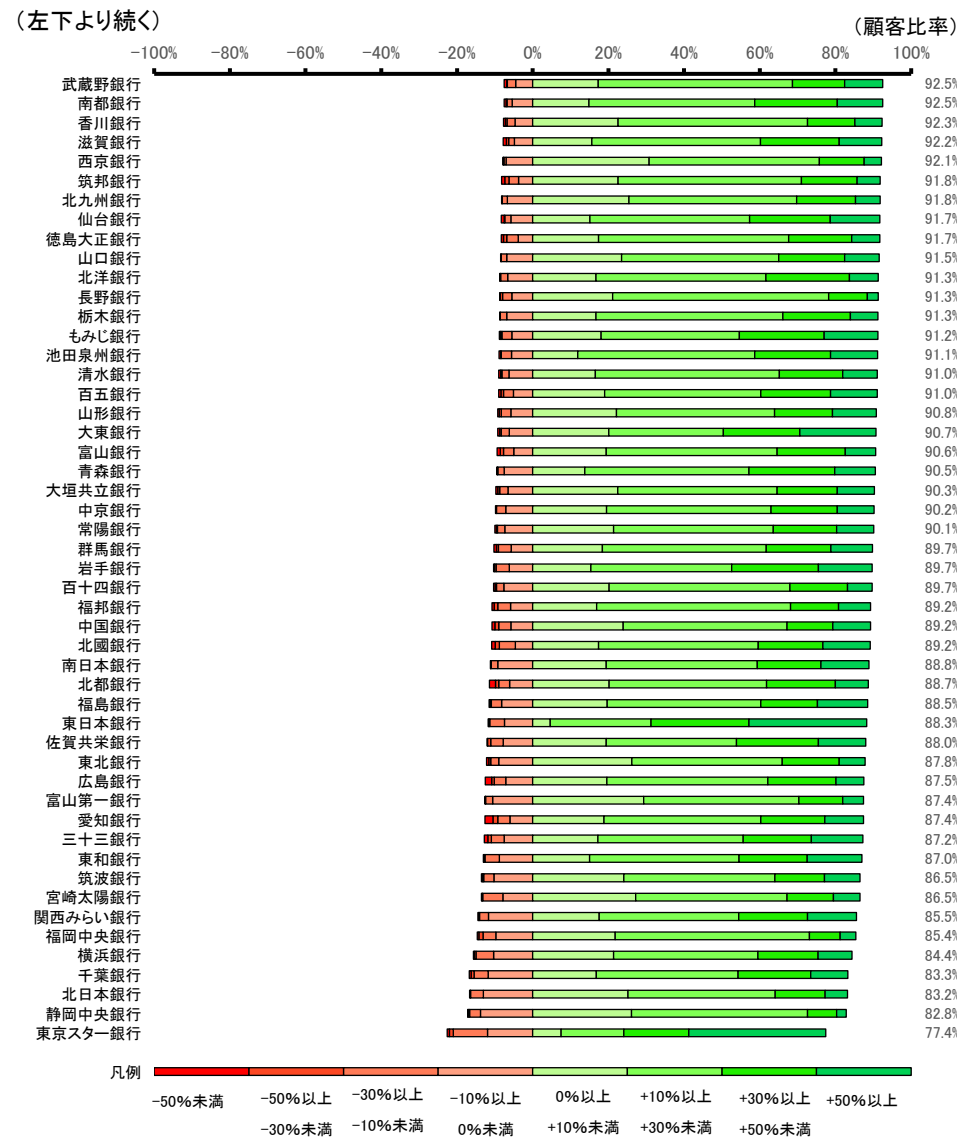
(注1) 基準日2024年3月末

(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった地域銀行50者を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

(資料) 金融庁

(左下より続く)



(注1) 基準日2024年3月末

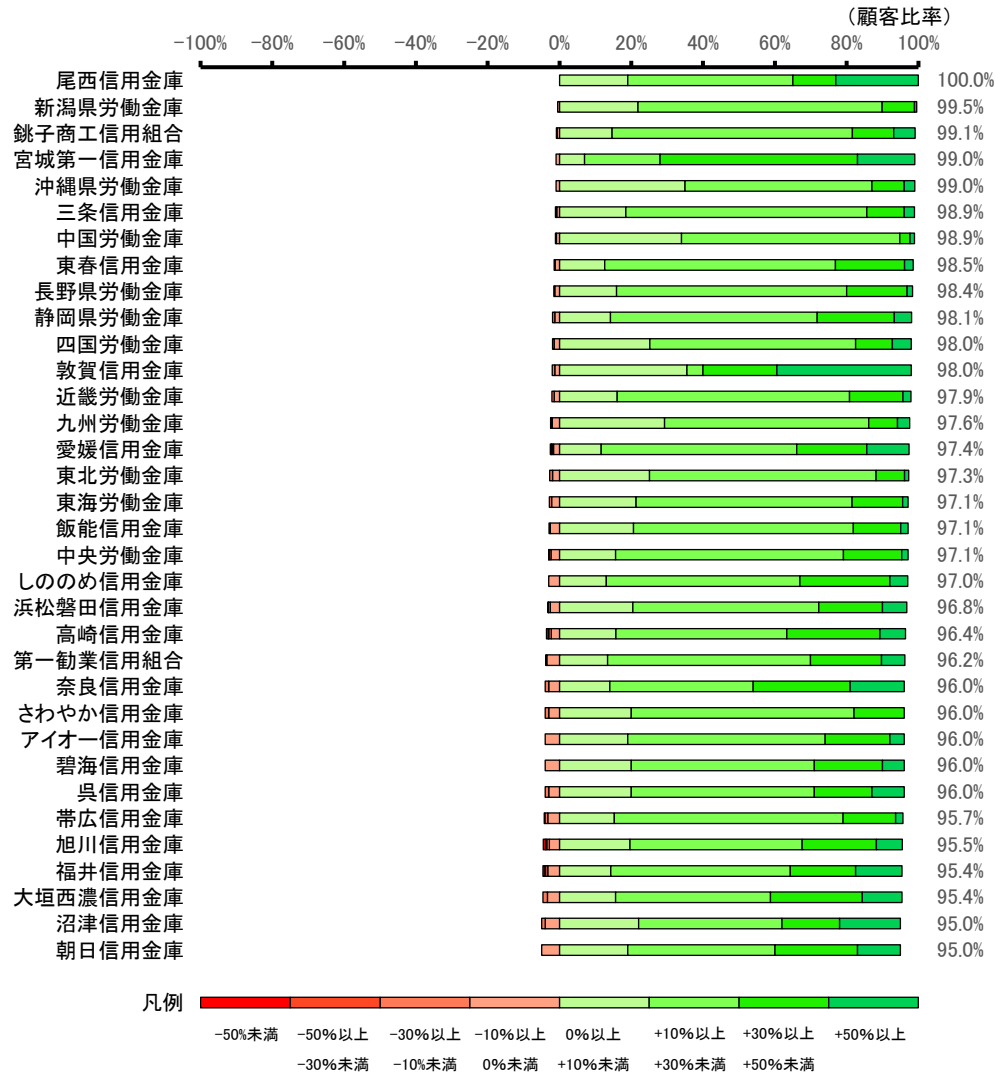
(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった地域銀行50者を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

(資料) 金融庁

【参考3】 協同組織金融機関等の投資信託の運用損益別顧客比率

■協同組織金融機関等(運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順)

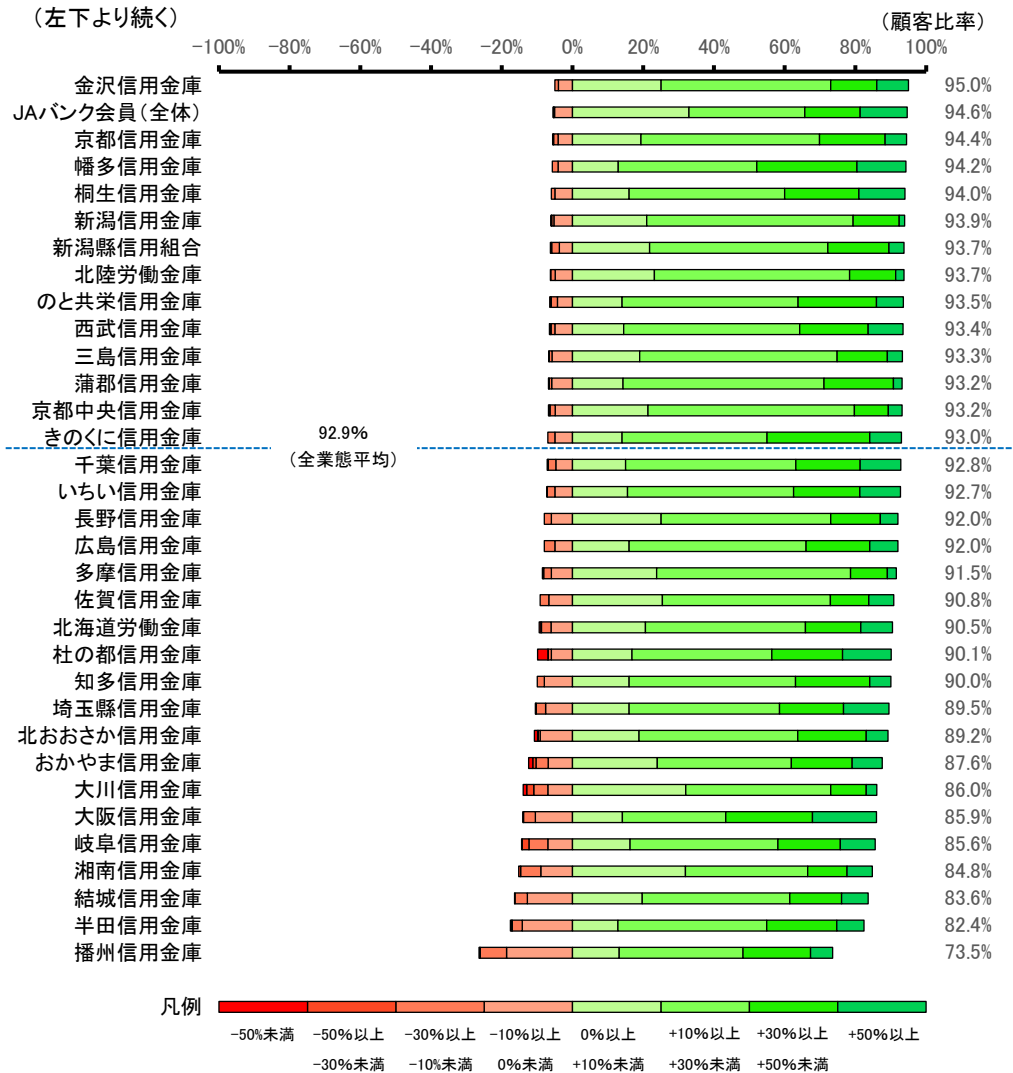


(注1) 基準日2024年3月末

(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった協同組織金融機関等34者を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

(資料) 金融庁



(注1) 基準日2024年3月末

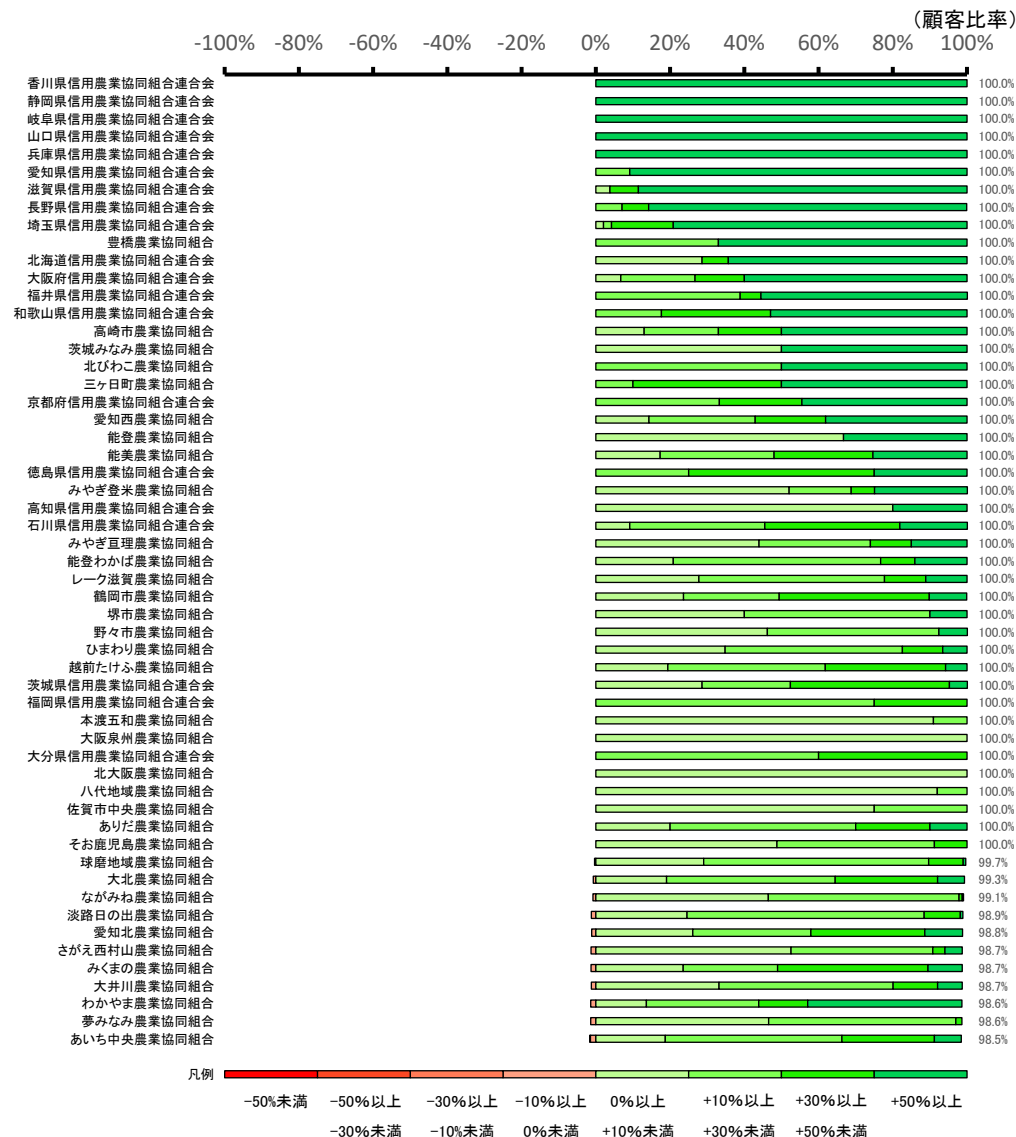
(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった協同組織金融機関等33者を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

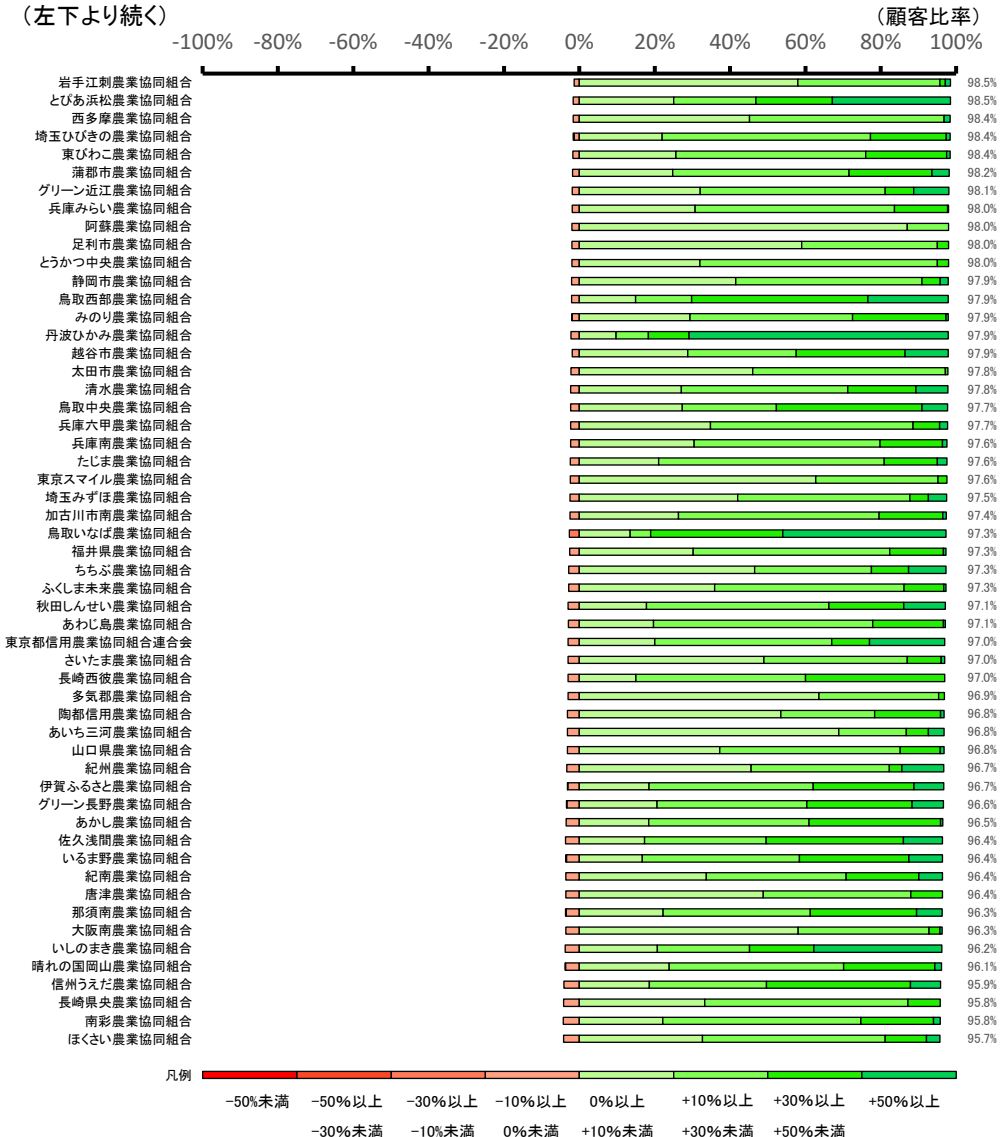
(資料) 金融庁

【参考3-①】 協同組織金融機関等のうちJAバンク会員の投資信託の運用損益別顧客比率

■ JAバンク会員(運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順) 1/2



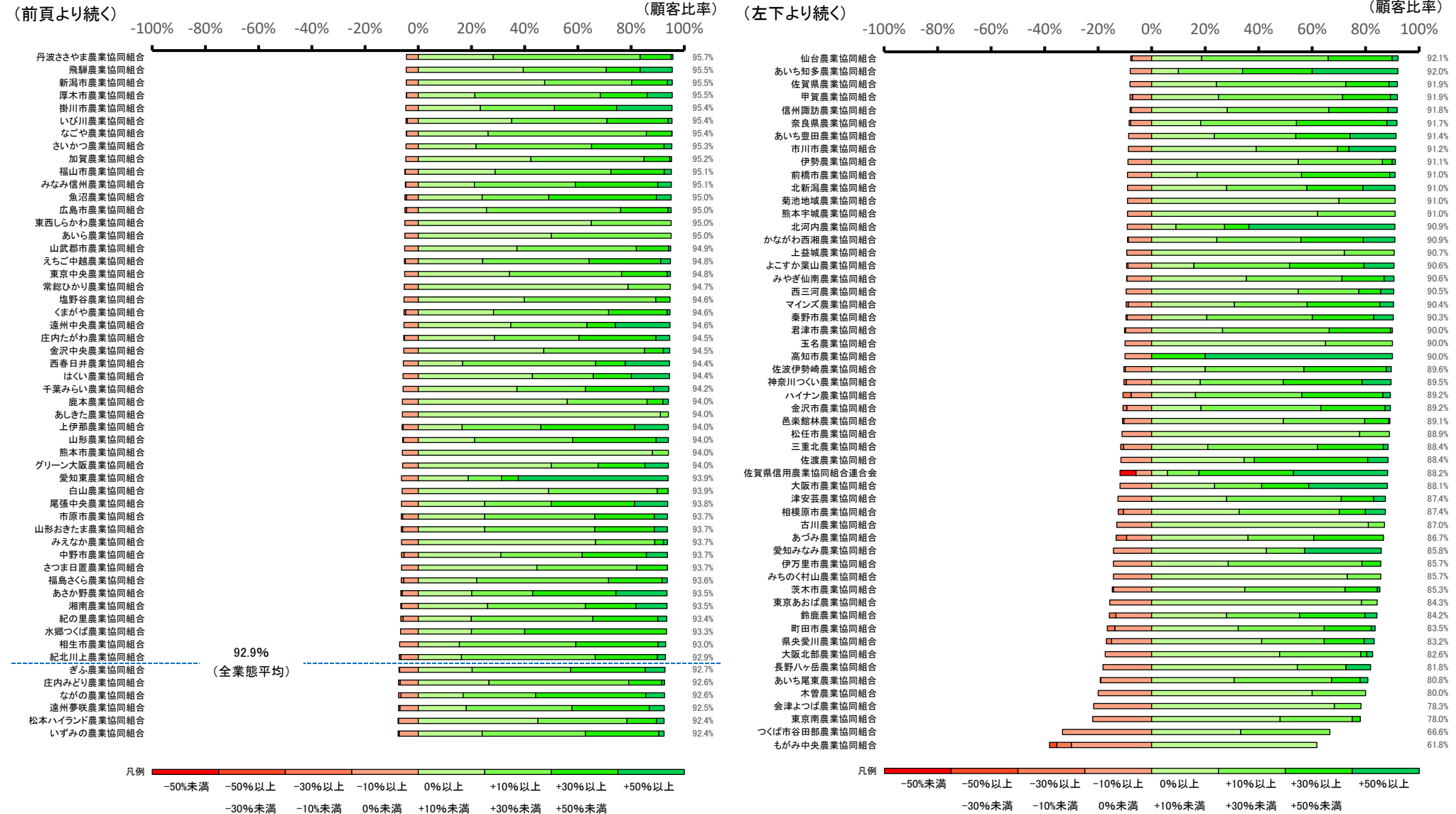
(注1) 基準日2024年3月末
(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった協同組織金融機関等55者を集計
(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合
(資料) 金融庁



(注1) 基準日2024年3月末
(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった協同組織金融機関等54者を集計
(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合
(資料) 金融庁

【参考3-②】 協同組織金融機関等のうちJAバンク会員の投資信託の運用損益別顧客比率

■JAバンク会員(運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順)2/2



(注1) 基準日2024年3月末

(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった協同組織金融機関等54者を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

(資料) 金融庁

(注1) 基準日2024年3月末

(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった協同組織金融機関等54者を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

(資料) 金融庁

【参考4】証券会社の投資信託の運用損益別顧客比率

■証券会社(運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順)

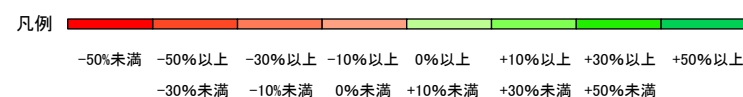
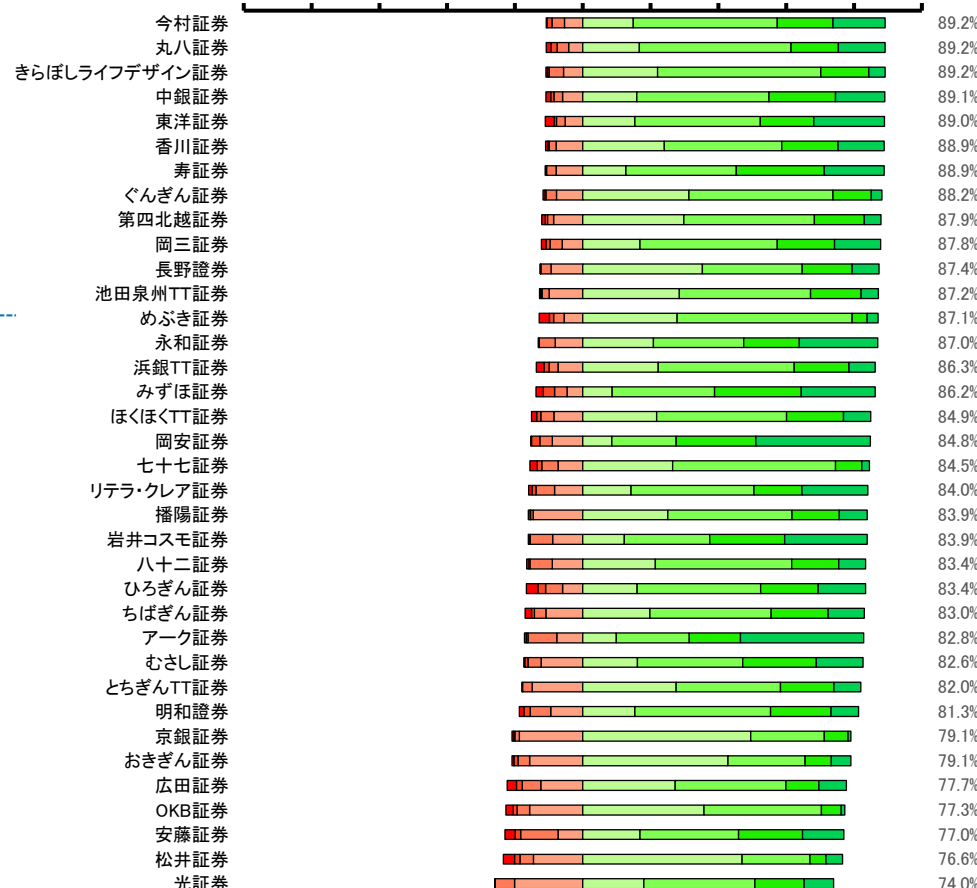
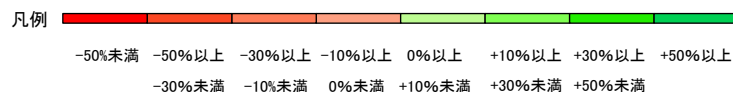
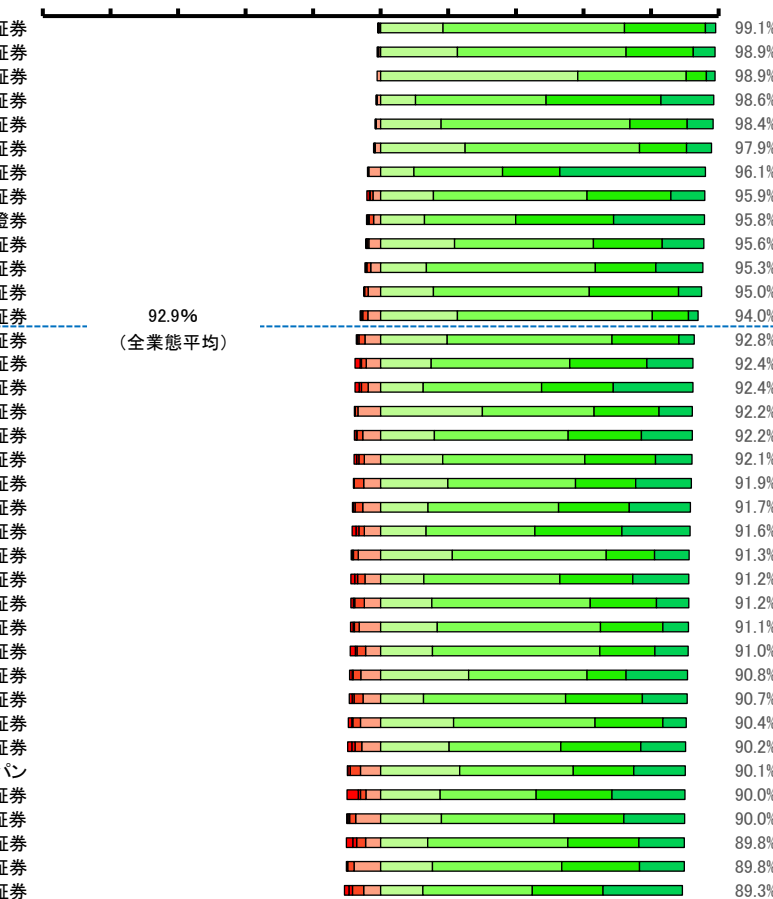
(顧客比率)

(左下より続く)

(顧客比率)

-100% -80% -60% -40% -20% 0% 20% 40% 60% 80% 100%

-100% -80% -60% -40% -20% 0% 20% 40% 60% 80% 100%



(注1) 基準日2024年3月末

(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった証券会社37者を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

(資料) 金融庁

(注1) 基準日2024年3月末

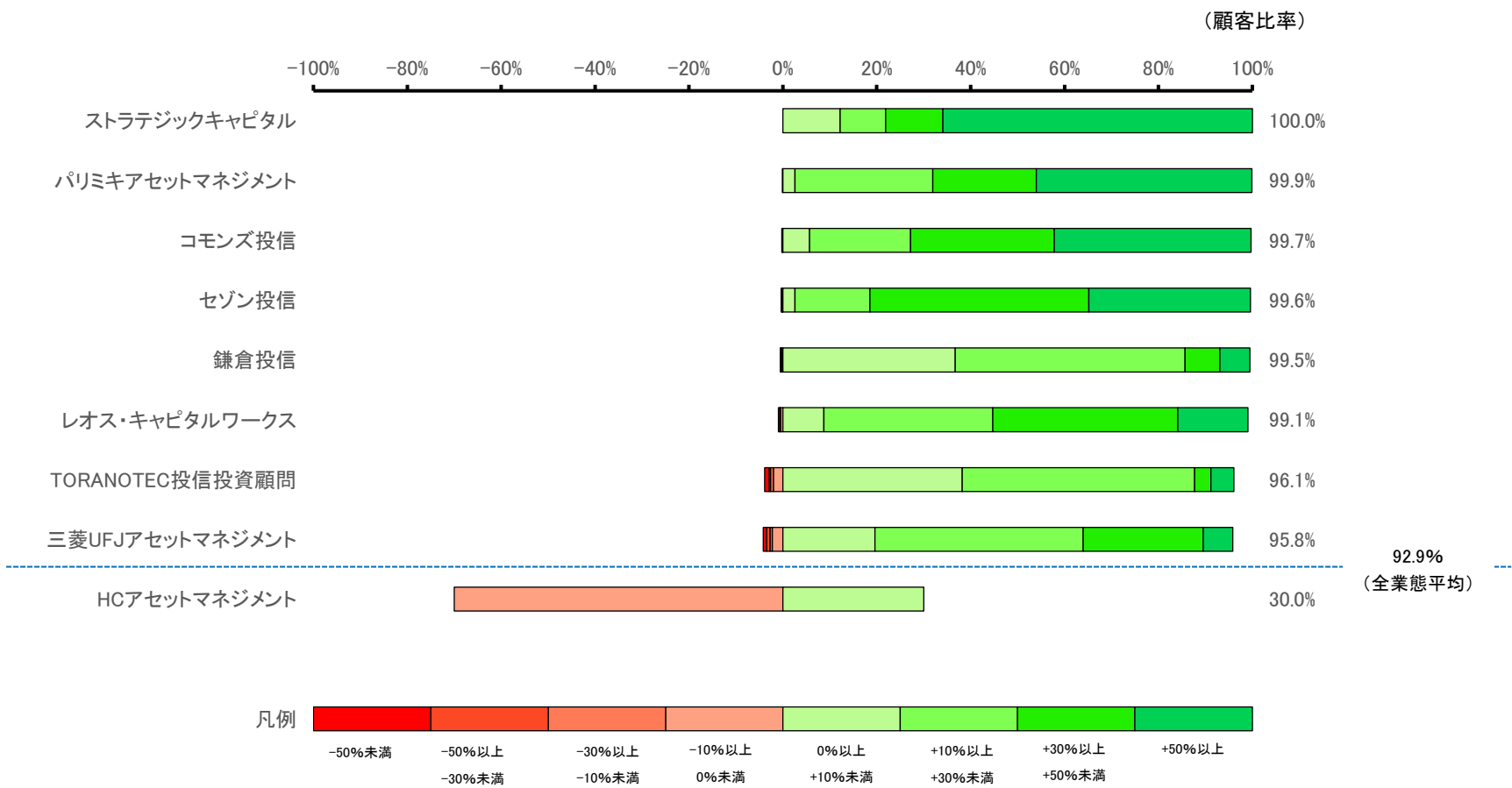
(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった証券会社36者を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

(資料) 金融庁

【参考5】 投資運用業の投資信託の運用損益別顧客比率

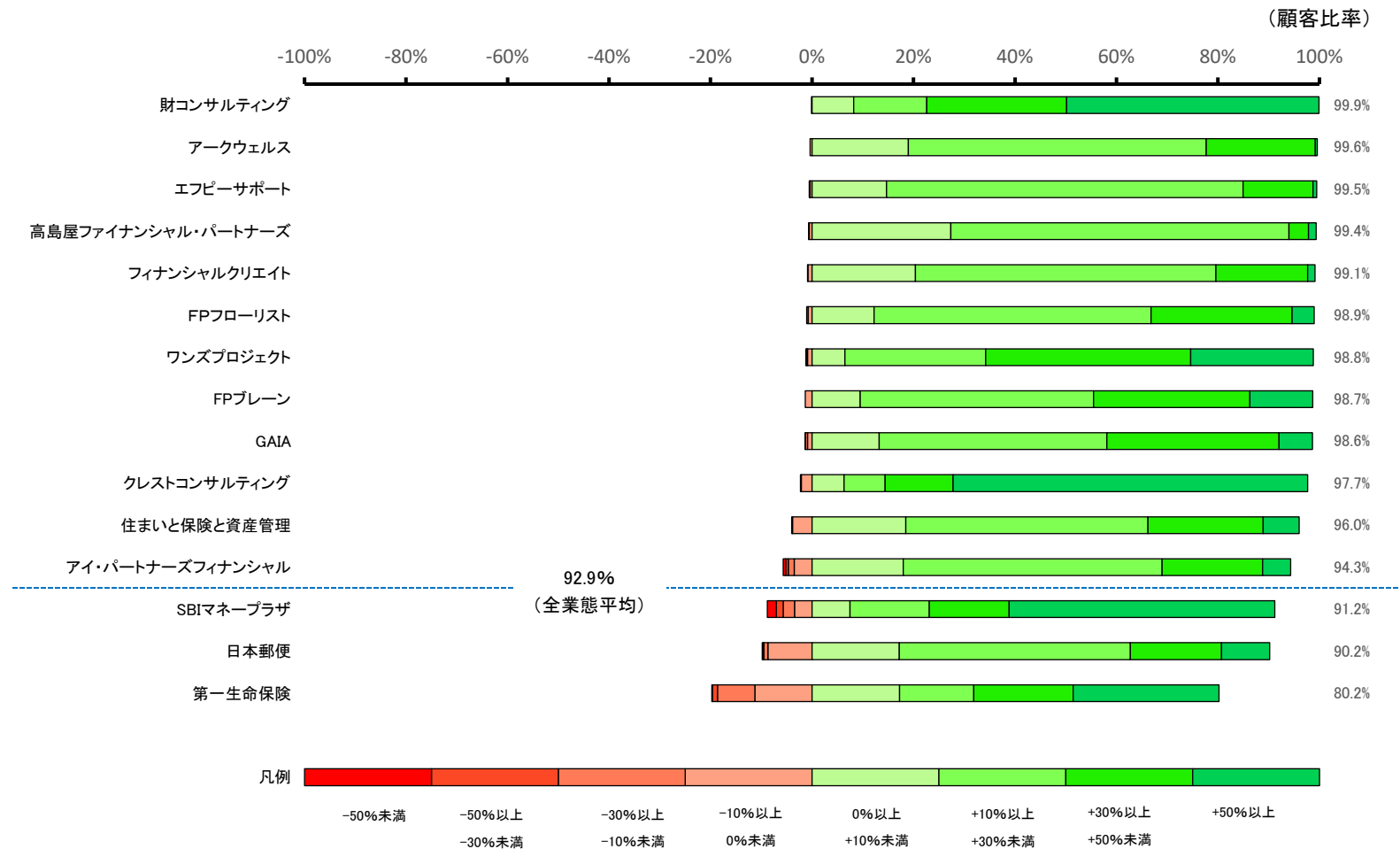
■投資運用業(運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順)



(注1)基準日2024年3月末
(注2)2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった投資運用業者9者を集計
(注3)各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合
(資料)金融庁

【参考6】 その他事業者の投資信託の運用損益別顧客比率

■ その他事業者等(運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順)



(注1) 基準日2024年3月末

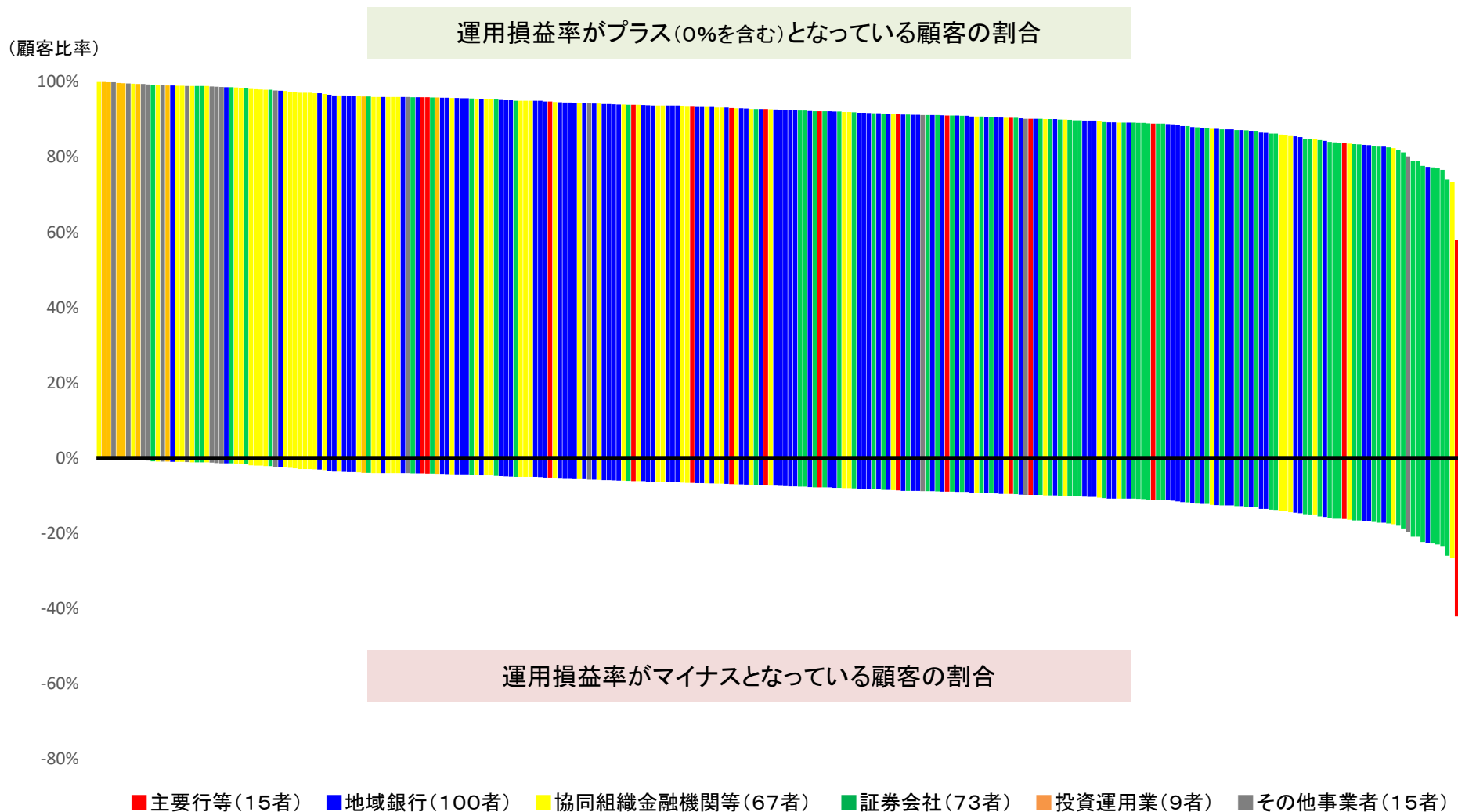
(注2) 2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあったその他事業者等(保険会社等3者、IFA11者、日本郵便)を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

(資料) 金融庁

【参考7】 投資信託の運用損益別顧客比率（全業態）

■運用損益別顧客比率（全業態）（左から、運用損益プラス（0%以上）の顧客割合が高い順）



（注1）基準日2024年3月末

（注2）基準日2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった金融事業者（279者）を集計

（注3）JA/バンク会員については協同組織金融機関等に1者として集計

（注4）その他事業者は、保険会社等3者、IFA11者、日本郵便

（資料）金融庁